

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.258)

1. 総合防災訓練を実施しました

防災の日を直前に控えた8月29日(金)に総合防災訓練(避難訓練)を実施しました。5階電気室の動力制御盤回路が漏電のため損傷し、黒煙が多量に発生して火災感知器が発報した想定で、全員が2階ピロティに緊急避難しました。避難場所で速やかに各部署責任者による人員点呼を行い、避難対象者全員の安否を確認し、副本部長から対策本部長へ対象者全員の退避完了を報告しました。



対策本部長への避難状況報告



屋外消火栓からの放水訓練

避難訓練に引き続き、豊田市消防本部予防課員(2名)による指導の下、屋外消火栓による放水訓練(1班4名×2班)と全員参加の初期消火訓練を実施しました。

初期消火訓練では、火災発生時の対応3原則(①周囲に知らせる、②初期消火、③危険を感じたらためらわず逃げる)に従い、大声で「火事だ!」と2回叫んだ後に、水消火器による初期消火訓練を行いました。

訓練終了後の反省会では、豊田市予防課様、廃棄物対策課様と対策本部長の所長から講評を頂きました。避難訓練、放水訓練及び初期消火訓練をご指導頂いた予防課様からは、「緊急避難時には皆さん速やかに無言で避難整列し、人員点呼が実施出来ていた。また、放水訓練や初期消火訓練も毎年の訓練のたまものから体現できており、大変良かった。」とのお褒めの言葉を頂きました。



水消火器による初期消火訓練

2. 処理施設解体撤去工事の進捗状況について

処理施設の本格的な解体撤去工事を始める前に、解体撤去物等を一時的に保管するスペースの確保が必要です。

これまでPCB処理物の保管・払出に使用されていた「払出エリア」には、クレーンやフォークリフトが設置されており、解体撤去物等の移動、保管、払出に適した環境が整っています。しかし、このエリアには紙類梱包機(PCB処理した紙類を梱包する設備:約7t)が設置されており、スペースの有効活用が難しい状況でした。

現在、PCB処理の操業が終了したことに伴い、この紙類梱包機及び周辺設備は使用されていないため、手作業による解体撤去工事を実施しました。その結果、今後の本格的な解体撤去工事において発生する解体撤去物等を一時的に保管できるスペースを確保することができました。

今後も、解体撤去物の移動、保管、払出を考慮しながら、本格的な解体撤去工事が始まる前に、必要な準備工事を安全かつ適切に進めてまいります。



解体撤去前の紙類梱包機



紙類梱包機解体撤去後の払出エリア

3. 環境報告書2025を発行しました

JESCO環境報告書2025

JESCOでは、昨年度の事業活動に係る環境配慮等の状況をとりとめた「環境報告書2025」を9月24日に公表しました。

この環境報告書には、当社の基本理念や行動指針、循環型社会形成への取組をはじめ、PCB処理事業の処理実績に係る各種データ、各事業所の環境モニタリングの結果や解体撤去の進捗なども記載しています。また、トピックスとして「全国のPCB廃棄物処理完了に向けた対応、中間貯蔵事業所のオープン、災害廃棄物支援への取組」について紹介しています。



詳しくは、右のQRコード、または以下のURLからご覧ください。

<https://www.jesconet.co.jp/company/environment/envirorep.html#anchor01>



デジ丸

問合せ先

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

アザラシのびーちゃん

